



こんにちは!

気象庁です!

1月号
平成 22 年
(2010 年)

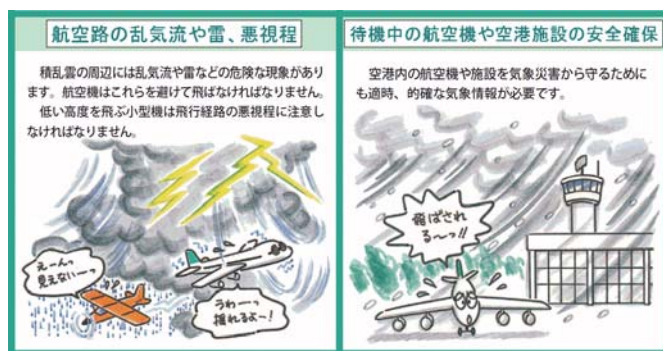


航空気象情報について ～航空機の安全で効率的な運航を支援するために～

航空機のパイロットや運航管理者は、安全で快適な飛行コースや効率的な燃料搭載量を決めるために、航空路や目的空港の気象実況や気象予報を利用しています。気象庁では、航空管制機関や航空会社等に航空機の安全で効率的な運航を支援するための気象情報を提供しています。

○空港の気象に関する情報

航空機の安全な離着陸のため、滑走路周辺の気象を常に観測しています。さらに、風向・風速の変化、積乱雲の発達による雷雨などの天気、霧などの発生にともなう悪視程、雲底の高さなど離着陸に影響を及ぼす気象要素を、「飛行場予報」として全国の 35 空港に提供しています(飛行場予報の例を図 1 に示します)。特に、離着陸あるいは空港に待機中の航空機や空港施設などに重大な影響を与える気象現象が予想される場合には「飛行場気象情報」や「飛行場警報」を発表し警戒を呼びかけます。



○上空の気象に関する情報

飛行中の航空機に影響を及ぼす航空路上の雷、台風、乱気流、着氷などの悪天候、火山の噴煙等を監視・予想した、「国内悪天予想図(図 2)」、「空域気象情報」、「航空路火山灰情報」などを作成し提供しています。

特に、「国内悪天予想図(図 2)」では、上空のジェット気流や CAT(晴天乱気流)域など、飛行に重大な影響を及ぼす要素について予想します。

RJTT AERODROME SHORT-TERM SEQUENTIAL FORECAST									
ISSUED TIME 204300Z 13th Nov 2009									
Valid	~2200Z	~2300Z	~0000Z	~0100Z	~0200Z	~0300Z	~0400Z	~0500Z	~0600Z
Wind	Cross	6kt (140)	6kt (140)	8kt (160)	20kt (190)	20kt (190)	20kt (210)	20kt (210)	20kt (210)
	Speed (kt)								
	Gust								
Tempo	Cross				30kt (190)	30kt (190)	20kt (210)	20kt (210)	20kt (210)
	Speed (kt)								
	Gust				40kt	40kt	30kt	30kt	
VIS	Tempo	8000m	8000m	8000m	8000m	8000m	8000m	8000m	>9999m
	CIG	1500ft	1500ft	1500ft	1500ft	4000ft	4000ft	1500ft	1500ft
WX	Tempo								
	Pressure								
TOKYO AVIATION WEATHER SERVICE CENTER									

図 1 飛行場時系列予報の例(東京航空地方気象台)

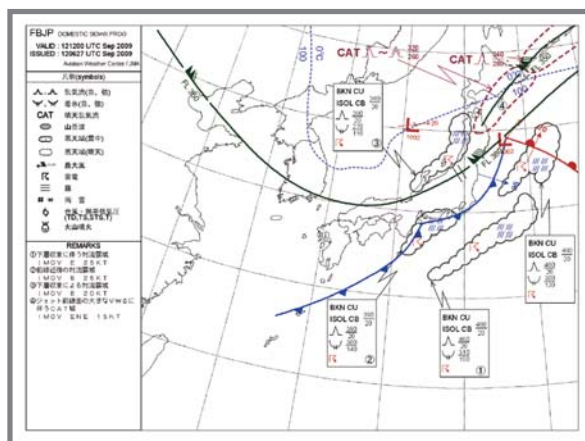


図 2 国内悪天予想図



2月の気象

●●● ～春一番～ ●●●

2月は冬から春へと季節が移り変わり始める月です。西高東低の冬型の気圧配置は長続きしなくなり、移動性の高気圧や低気圧が日本付近を通過することが多くなります。低気圧が発達しながら日本海を通ると、低気圧に向かって強い南風が吹き急に暖かくなって、一時的に春の陽気になったりしますが、気温の急上昇による融雪やなだれ、低気圧や前線の接近、通過に伴う暴風や大雨などに警戒が必要です。

○春一番

低気圧が発達しながら日本海を通ると、東日本や西日本では南から強風が吹き込んで気温が上がります。2月の立春から3月の春分間に吹く最初の暖かく強い南風を「春一番」と呼びます。

2009年は2月13日に、低気圧が発達しながら日本海を北東に進み(図1)、各地で春一番が吹きました。この日、東京では最大風速が南南西9.6メートル(最大瞬間風速20メートル)、最高気温は翌14日にかけて23.9度まで上昇し、5月下旬の陽気となりました(図2)。「春一番」という言葉には春の訪れを告げるような響きがありますが、強い南風や気温上昇による融雪・なだれ、暖気の流入による大雨にも警戒する必要があります。

また、低気圧からのびる寒冷前線が通過する際には短時間の強い雨や雷、突風、時には竜巻が発生することもあります。その後、寒冷前線が通過すると強い北風が変わって気温も下がり、大荒れの天気となることがあるため、様々な災害への警戒が必要です。本事例でも、13日から14日にかけて西日本や北日本で強風による鉄道の運休やフェリー・航空機の欠航など、各地で交通機関に影響が出ました。また、この期間、秋田県では多いところで90ミリの総降水量を観測し、土砂崩れや床下浸水、道路の冠水などの被害がありました。

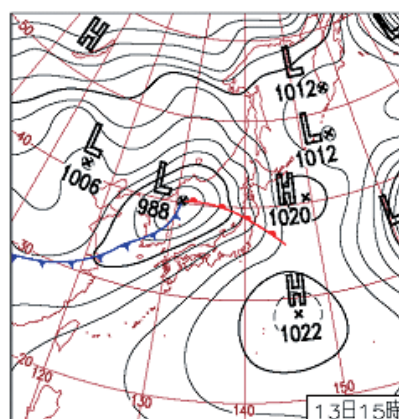


図1 2009年2月13日15時の地上天気図

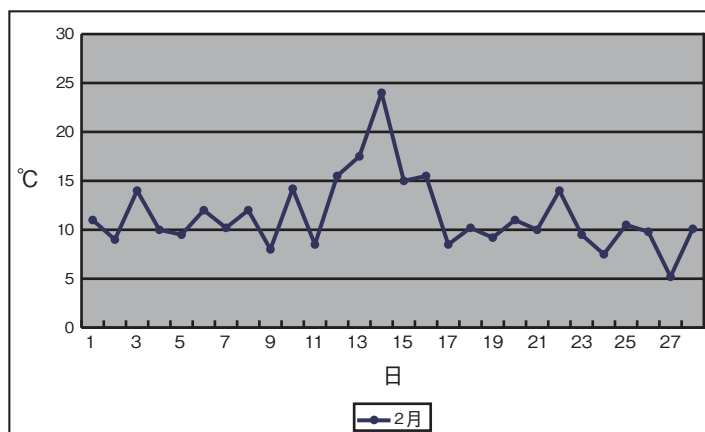


図2 2009年2月の東京の日最高気温